

いなべ市シルバースローガン

守ること しっかり守って 事故はなし

\* 事故の発生状況 H22年10月末現在\*

10月発生分	シルバー事業	バス事業	計	年度累計
傷害事故	0	0	0	5
賠償事故	0	1	1	13

**《秋が深まった10月****バス事業で不運な事故が発生》**

10月6日（水）夜、回送中の福祉バス（ハイエース）に向かって左手方向から突如鹿が飛び出し、車両正面に激突。福祉バスはボンネット、バンパーおよびナンバープレートを損壊。鹿はその場から姿を消し去った。自殺行為にも似た・不意を突かれた出来事とは言え、本件は『賠償事故』として件数に計上されます。一方、シルバー事業では10月無事故を記録しました。

会員の皆さん、夜間の走行時だけとは限りませんが、鹿、イノシシ、猿、カラス等鳥獣の突然の飛び出しには充分注意を払って運転してください。

**\* 剪定作業における安全作業について****後悔先に立たず・転ばぬ先の杖**

剪定作業が本格化する季節となりました。事故の大半は、ほんの小さな不注意（気のゆるみ）とか、分かっているけれどもやらないといった怠慢（思い上がり）が原因と言われています。

特に下記事項を守り安全就業をお願いします。

1. 作業靴は、滑りにくいもの（地下足袋など）を使用する。
2. 安全帽（ヘルメット）・安全带・ロープは3点セットで、必ず着用する。
3. 三角梯子は、滑ったり傾かないように据え付け、開き止め金具を掛ける。  
場合によって、梯子が倒れないようにロープで木に縛り付ける。
4. 地上2m以上で作業する時は、安全带を着用する。

**\* 今年もインフルエンザに細心の注意を**

例年の「季節性インフルエンザ」に加え、昨年「新型インフルエンザ」大流行は記憶に新しいところです。「インフルエンザ」の罹患は、本人の苦痛のみならず周囲に対しても大変な迷惑をかけることとなります。今夏、猛暑を経験しているだけに、今秋は、いやに寒さが身にしみます。落差が激しい故、各自感染予防は充分行って、この冬を元気に乗り切りましょう。

**\* 安全運転マナー研修会の実施**

平成22年度『いなべ市SC高齢者ドライバー交通安全マナー研修会』を去る10月8日（金）第1グループ23名、29日（金）には第2グループ23名参加のもと、津市・運転免許センター4F安全運転研修センターにおいて開催いたしました。

センターでは安全運転に関する講義を受講した後、参加者全員が個々にドライビング・シミュレーターによる模擬運転を体験し、次いで、屋外に出て難度の高い路面コースで実車を運転する実技指導へと移行し、皆さん全員が我を忘れて真剣に取り組むなど、中身の濃い研修となりました。参加者の皆さんからは、異口同音に「自分自身の運転技術レベルがはっきり分かり、参加して良かった」の声に交じって、「これほど距離勘が鈍ってきているとは」「スピード感覚が落ちている」「雪上や凍てた道路での運転は徐行が一番」「雪が降ったら福祉バスで」等の反省の弁も聞かれました。